

東郷町の生物多様性についての取組みは



近藤 鑛治 議員

【議員】2010年10月に生物多様性条約締結国会議（COP10）が名古屋で開催される。町の考えは、

【生活部長】町で現在、春・冬の自然観察会、ほたる生息地調査、水生生物調査を行っている。町民活動グループでは、東郷町グリーンベルトを考える会で自然観察会を年6回実施している。

【議員】今後の取組みについて、考えはあるか。

【生活部長】現在、町独自の取組みはないが、町民に生物多様性について「気づき・知り・学ぶ」につながる情報提供をしていきたい。

東郷診療所の今後の取組みについて

【議員】診療所運営委員会の答申に対して、行政側は8月末に結論を出すとの回答だが、検討内容はどんなことか。

【健康部長】答申の16検討項目について検討して

いる。

【議員】具体的な内容は、

【健康部長】増収努力、患者数の増加、診療時間の検討、地域連携の強化等である。

【議員】実行したことは、

【健康部長】診療所内検討会の立ち上げ、来院者へ安心人間ドッグ受診の声かけ、ホームページ掲載内容の見直しを進めている。

公民館の旧カラオケ室の利用は

【議員】旧カラオケ室は何に利用されているか。

【企画部長】現在は美容健康スタジオとして使用。5月末までに30人程の利用者があった。

【議員】今後の予定は、

【企画部長】ヨガ、ストレッチ、骨盤体操など、心身ともにリラックスできる教室を開催していく。

【議員】公共施設としては料金が割高では、

【町長】内容を考えれば決して高くない。

新型インフルエンザの対策を



加藤 啓二 議員

【議員】新型インフルエンザの感染拡大が問題となっている。新型インフルエンザ対策をどのように検討しているか。

【総務部長】5月1日に町長を本部長とする新型インフルエンザ対策本部を設置した。

【議員】第3段階の「まん延期」に移行した場合、学校、保育園の臨時休校や休園の判断は、

【総務部長】5月22日に改定された国の基本対応方針にそって対応する。新型インフルエンザの心配がある、発熱などの症状がでてきたなどの時には、すぐに医療機関に受診するのではなく、瀬戸保健所の発熱相談センターに電話相談し、治療方法の指導を受けることになる。本町でも住民の相談に対応するため、5月18日からいこまい館内の健康課に相談窓口を設置している。

給食センターの運用計画は

【議員】現在、増築している給食センターだが、今後の運営計画は、

【教育部長】新調理場については、9月から保育園の給食調理を予定している。効率的な施設運用をはかるため、8月から機能確認や試験的な調理実施をしていきたい。

【議員】既設給食センターの修繕計画の考えは、

【教育部長】既設給食センターは平成5年の完成以降、フル稼働の日々が続いている。排水設備や給水整備、調理器具等も老朽化が進んでいるが、現在の財政状況を考え、より効果的な改善計画を立てる必要があると考える。今年度中に改修が必要な設備や器具の特定と改修方法の検討を進め、来年以降の改修計画を策定していきたい。